



笠井かなえの活動レポート

～子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX 0940-37-0700
meil munakata@fnet.gr.jp

一般質問

12月議会報告

注目の議案

◆誰もが安心して避難できる取り組みを

近年、台風や豪雨による風水害や大地震による大きな被害が相次いで起こっています。災害時に市民の命を守ることに、そして誰もが安心して避難できるようにしておくことが重要です。

●避難行動要支援者名簿が有効に活用できるように

災害発生時、自力で避難できない人で支援が必要な人が登録されている名簿です。対象者への登録申請案内や広報紙やホームページに掲載し啓発をしています。登録内容の更新を確実にし、地域で活用されるよう要望しました。

●避難所運営に女性の参画を

宗像市避難所運営マニュアルには、運営に女性が関わること、障がい者や乳幼児連れなどに対する配慮などが盛り込まれています。日ごろからあらゆる場面で男女が等しく責任を持ち、助け合い、話し合い、物事を決めていくことを実践しておくことを提案しました。

●災害時こそ早急な母子支援と、子どもの遊び場の確保を

非常時の母子支援は、これまで後回しで切り捨てられがちでした。母子を支援することが家庭を繋ぎそれが地域の再生につながります。また、子どもたちは災害時に大きなストレスを受けます。子どもたちは「遊び」を通して心の傷をいやしていきます。母子支援と遊び場の確保を提案しました。

2020年に、改訂された「防災マップ」が発行されます。

市民の命を守るために重要なものなので、全戸に配布するよう強く要望しました。

◆赤間小学校学童保育の指定管理認定について

赤間小学校の学童保育事業は、2018年に赤間コミュニティ運営協議会が、指定管理者となりました。

赤間小学校の学童保育所は、200人近い児童が在籍し、3つに分かれているため、運営は大変だと思います。しかし、地域と連携し、特色ある取り組みをされていることは、とても評価できます。

1年目の決算では、黒字であったと報告がありました。予算は、子どもたちのための備品整備だけでなく、指導員が働きやすい環境となるような使い方をさせていただくよう要望して、賛成しました。



視察報告



社会常任委員会で行政視察に行ってきました。

日程：10/15～10/17

場所：東京都練馬区（地域包括ケア）静岡県富士市（ユニバーサル就労）
静岡県富士山世界遺産センター

{テーマ}誰もが自分らしく働ける取り組み「全国初の行政が行うユニバーサル就労」

●ユニバーサル就労って何？

様々な理由で働きたくても働くことができない市民が就労できるようになることが、富士市のユニバーサル就労です。

●どんな人が対象なの？

一般的な就職活動に難しさを感じている人、働きたいと思っているけれど、これまでなかなか働く場が見つけれなかった人、例えば、ひきこもり状態の人、障がいの手帳の有無にかかわらず何らかの障がいのある人、子育て中や家族の介護中の人など、全ての人を対象にしています。

●ユニバーサル就労支援センターは何をするの？

それぞれの就労支援の窓口でも対象外となる人がいます。ユニバーサル就労支援センターは、様々な分野の団体・機関と連携して（右図）その人が就労できるように支援を行います。

利用者一人ひとりに合わせたオーダーメイドの支援、協力企業の開拓、業務分解の推進、企業がユニバーサル就労に取り組むための支援などを行っています。

●今、必要とされている取り組みは？

2年半で70人が就労（センター利用者の53.4%）しています。特に若い世代の利用者が多く、適切な就労支援を早期に行えば、半数以上の方が就労できることが分かります。ひきこもり状態の人が全国に110万人いるといわれています。こういった取り組みの必要性を実感しました。



活動日記

議会活動以外にも活動しています。ほんの一部を紹介します。

★10月 合同街頭アピール

古賀、福津、宗像の3地域合同で「平和」を考えるアピール行動をしました。
*宗像では、毎月11、19日に街頭アピールを行っています。



★ニュース駅前配布

議会終了後に、ニュースを発行しています。毎回、JR 赤間・東郷・教育大前駅で配布しています。各戸には、ボランティアさんの手で配布されています。



★スキルアップ

「不登校サポーター養成講座」を受講。NPO あそびっこネットワークの中川さん、NPO フリースペースたまりばの西野さんの講演会に参加、子どもの育ちについて学びました。

